



町の子供は町で育てる

「3つの合言葉」元気・学び・会話

## 滑川町教育委員会だより

「学んでよかった町へ -チーム滑川での教育-」

## 「競争」から「修行」へ

5月24日（日）、滑川町総合体育館を会場に第60回郡民スポーツ大会空手道競技・第43回比企郡空手道選手権大会が開催されました。開会式の来賓あいさつで大塚信一町長から「礼に始まり礼に終わる」という武道の精神についてのお話がありました。「ありがとう」や「ごめんなさい」という気持ちを持つことこそ礼節につながり、その精神が世界中に広がれば戦争もなくなるだろうという言葉がとても印象的でした。また、福田小学校の小林樹さんが「礼儀を忘れず、磨いてきた技と心を出し切り、正々堂々と戦います」と力強く選手宣誓していました。

実際に選手たちは、試合の結果が出た後も「勝って驕らず、負けて腐らず」の態度を崩しませんでした。普通なら、勝てば自慢したくなったり、負ければ悔しくてふてくされたりしてしまうこともあると思います。しかし、選手たちは勝敗以上に礼儀や人としての在り方を大切にしていました。そこに武道の本当の価値があるのだと思います。

参観させていただく中で、「ケンカに強くなりたと思って武道を始めたが、修行を重ねるうちに、そもそもケンカをする場面に出くわさなくなった」という言葉を思い出しました。武道は、相手を倒す技術を学ぶものと思われるがちですが、本来は自分自身の心を鍛え、人間性を高めるためのものなのでしょう。感情をコントロールし、冷静に行動できる人は、無意味な争いを避けられるようになるということです。

現代の社会では、多くの場面で「競争」が重視されています。学校ではテストの点数や順位、スポーツでは勝敗や記録など、私たちは日常的に他人との比較の中で生活しています。もちろん競争には、自分を成長させるきっかけになるという良い面もあるでしょう。しかし、勝つことだけを目的にしてしまうと、負けた人を見下したり、結果だけにこだわって努力の過程を軽視したりする危険も生じます。私は今回の参観を通して、「競争」ではなく「修行」という考え方の大切さについて、深く考えさせられました。

武道や伝統芸能などの修行においては、「仰角を揃える」という考え方があるそうです。高く遠い目標を見上げる時、初心者も熟練者も同じ方向を見ることとなります。つまり修行においては、現在の実力差よりも、「より高い境地を目指したい」という気持ちが大切だということです。この考え方では、自分以外の人は倒すべき敵ではなく、ともに成長を目指す仲間ということとなります。私は、この考え方に強く共感します。

福田小学校の持久走記録会の取り組みも、修行モデルだと考えます。以前のように順位を競うのではなく、フォームや呼吸、リズムなど、自分自身の感覚を大切に練習するようにした結果、「走ることが好きになった」という児童が増えたのです。そして、その楽しさが結果的に記録の向上にもつながりました。これは、ただ勝つことだけを目標にするよりも、自分を高めることに意識を向けた方が、人は成長できるということを示しているのではないのでしょうか。

「競争」だけを重視すると、「勝てばそれで終わり」という気持ちが生まれやすいと思います。しかし、「修行」には終わりがありません。たとえ成功しても、「もっとできる」「まだまだ成長できる」と努力を続けることが大切です。

「周りの人と比べて落ち込んだり、逆に少し良い結果が出ると安心して努力を怠ったりする」このような経験は誰にでもあると思います。しかし、本当に大切なのは、勝ち負けではなく、自分自身を磨き続けることなのだと思います。競争から修行へ…考え方をシフトしませんか？

※5月26日（火）の登校時、福田小学校の矢野叶都さんがケガをした1年生の男の子をおんぶして歩いてくれました。矢野さんも空手の修行を積んでいる男の子です。



## 図書館からのおすすめ絵本



図書館オリジナルキャラクター  
ブックろう

図書館では、家族と一緒に本を読むことで、読書に親しんでもらうとともに、家庭内のコミュニケーションを深めることを目的とした「家読」(家庭読書)を推進しています。こどもも大人も楽しめる、家読にぴったりの絵本をご紹介します♪

### 『おやおや、おやさい』

こんな人におすすめ

野菜がもっと好きになる本をお探しの方へ



『おやおや、おやさい』  
石津 ちひろ 文  
山村 浩二 絵  
福音館書店

この本の主役は、フレッシュな野菜たち。今日は、待ちに待った「マラソン大会」です。マッシュルームの合図で、野菜たちがいっせいにスタートしました。トマトにパセリ、ニンジンに大根、たくさんの野菜が頑張って走ります。「ラディッシュ だんだん ダッシュする」や「きゅうりは きゅうに とまれない」など、リズムカルな言葉あそびと、ユーモアたっぷりのイラストが楽しいお話しです。

さて、一等賞に輝いたのは、誰でしょう？

苦手なあ野菜も、つい応援したくなるような可愛らしい一冊です。

人気作『くだもの だもの』も、ぜひ一緒にご覧ください♪

※この本は、滑川町立図書館に所蔵があります(貸出中のときは予約ができます)

文化財シリーズ!  
第15回

### 「滑川町の歴史」 part 15

#### 古墳時代の滑川町～古墳に納められたもの～副葬品～

ひそうしゃ

古墳には埋葬された人(被葬者)とともに、様々な品々が納められました。副葬品は、社会の変化に合わせ、時期により納められるものが変化します。前期には、三角縁神獸鏡などの銅鏡や腕輪形石製品といった呪術的な性格の強い品がよく納められました。これは、被葬者が司祭者的な役割を持っていたことをうかがわせます。

中期になると、鉄製の短甲(胴よろい)や刀剣、鏃などの武具や武器、金箔を貼った馬具など軍事的性格や経済的豊かさを表す品に変わっていきます。

一方で、鉄製のナイフ(刀子)などの小型の道具を石でまねて作った、石製模造品というマツリの道具もよく納められていました。これは、被葬者の役割が司祭者的立場から軍事的・政治的支配者へと変わっていったことがうかがえます。

後期には、実用的な中期の副葬品の流れを汲みながら、須恵器や土師器などの土器も多く納められました。また、銅鏡や豪華な装飾を持つ武具や武器が納められる古墳は、被葬者とヤマト政権との関係性も、うかがわせます。

滑川町では、古墳時代後期の古墳・古墳群が多く、月輪古墳群などからは副葬品として鉄製の直刀や鏃、弓金具・須恵器など様々な品々が出土しています。



エコミュージアムセンター  
オリジナルキャラクター



月輪古墳群出土の須恵器

★町内の古墳出土の副葬品の一部をエコミュージアムセンターにて展示します!

○展示期間: 6/2(火)～6/28(日)

10:00～17:00

(毎週月曜日、及び6/21は、休館日のため休展です)



月輪古墳群出土の鉄鏃



月輪古墳群出土の直刀